

大町病院を守る会会報

No. 9

2011年8月発行
大町病院を守る会
発行責任者北村喜男

先生方よろしくお願ひします

新任の3人の医師 守る会歓迎会盛大に



【↑北村会長の歓迎あいさつ 後方は司会の種山事務局長】

大町病院を守る会は、7月15日（金）午後6時30分から、大町温泉郷の黒部観光ホテルにおいて、新任医師歓迎会を開催しました。

北村会長の歓迎あいさつに続き山田院長による新任医師の紹介、来賓の諏訪県議会議員、大厩市議会議員、牛越大町市長の歓迎あいさつの後、横澤大北医師会会長による乾杯で祝宴に入りました。

今回新しく大町病院においでいただいた先生方は、左から 秋田 倫幸先生（外科）

竹内 勇介先生（小児科）

安藤 大史先生（産婦人科）

の3人の若い先生方でした。

【乾杯の発声をする横沢医師会会長 ↓】



【↑新任医師を紹介する山田院長】

三人の先生方からそれぞれ力強い決意が述べられ、大町病院はますます発展・充実していくことを皆が確信しました。

また二部の司会者は清水あさひさんが担当し、クイズやカラオケの進行に汗を流しました。

クイズに全問正解の松澤副会長と矢口看護部長は豪華？野菜の盛り合わせセットをプレゼントされました。



当日は役員が受付、来賓接待、名札、会費受付、余興などさまざまな役割を分担し合い会を盛り上げました。

万歳三唱を先唱する
大北保険薬局事業協同組合
代表 矢口澄江さん



新任医師歓迎会北村喜男会長挨拶（要旨）

「大町病院を守る会」として、歓迎会を開催いたしましたところ会員各位の協力を賜り盛大に開催することができ、また来賓の皆様にはご多忙の中ご臨席を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、地域医療や公立病院を取り巻く環境は依然として厳しく、その存続のためには行政、議会、市民が一丸となって取り組むことが不可欠な状況です。このような状況下で行政は物心両面にわたり病院に対し多大なご支援を頂いておりますほか市議会におかれましても「市立大町総合病院対策委員会」を設置するなど、大町病院の存続と発展に積極的に取り組んで頂いております。本会は地域の中核病院でありまた市民の命の綱である大町病院の存続・発展のために市民が自ら取り組み組織し、1年余り活動を続けてまいりました。決して十分な体制ではなくまた活動も手探りの状態で試行錯誤を続けている状況ではありますが、熱意は徐々に市民の間に浸透し、伝わりつつあると感じております。また、病院スタッフの皆様の熱意と知恵により第1回病院祭が開催され、あの成功は私たちにとり大きな励みと同時に大町病院の発展に大きく寄与したものであると思います。さて、このたび大町病院に新しくお越し頂きました秋田先生、竹内先生、安藤先生におかれましては本当にありがとうございます。心から歓迎の意を表したいと存じます。会員はもとより市民が先生方のお越しを心待ちにしておりました。先生方の大町病院でのこれからの活動は肉体的・精神的に大変なご苦労がおりかと存じますが、病院スタッフは勿論行政や議会、そして守る会や市民の皆様が先生方を温かく見守り応援をしております。大町は北アルプスの麓、山紫水明の地であり山、湖、温泉、清らかな水そして温かな人情が揃った信州そのものであります。先生方には大町病院に永くお勤めいただき時間を見つけて市内各所を見ていただき深く知っていただき大町の良さを満喫して頂きたいと願っております。何かと不手際やご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ごゆっくりとご歓談頂きたいと存じます。結びに、守る会としてこれからも先生方を盛り上げ、病院と地域医療を守るためにできる限りのお手伝いをさせていただくことを申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

のどじまんに大勢の出場

病院の心意気を示す



【↑出場され、奮闘された皆さん】

NHK 素人のどじまんTV放送が大町市にやってきました。6月12日予選、13日本番生放送がありました。240組を超える出場者の中に病院に勤務する皆さんが6組出場し、大町病院の心意気をしめしました。本番にはただ一人、安藤先生（産婦人科医）が白衣で出場しました。

病院のまわりを植栽・草取り

守る会も職員も参加

守る会では役員が中心となって、5月22日、7月22日、8月17日の三日間プランターの花植えや草取り、プランターからの移植を行いました。また、5月22日以降、花への水くれ当番を決めて、毎日水くれています。



大町病院を守る会の役員がそろいました

市民とのきづなでつくる生活インフラ！ 皆さんよろしく



会長 北村喜男 副会長 松沢郁子・海川明文
事務局長 種山博茂 事務局次長 塩原義夫
・宮脇哲子・高橋博久・西沢唯芳
幹事(大町)磯貝匡弘・神社正幸・興国和美
・小林千恵子・黒岩良介・江津悌雄・平林信子
・松本武子・(平)宮島邦夫・太田美知子
(常盤)清水あさひ・中島節子(社) 渋谷見博
(八坂) 小林真奈美・(美麻)(種山博茂)・(白馬)篠崎久美子
・田中栄一(小谷)竹田保二・(病院労)西澤ひろみ
・(体協)種山良治・(市職労)井沢公一・(病院)村山司
・(行政)吉沢義雄・西沢正敏
・監事 内山博・西沢忠司

病院職員募集をすすめるため

医師と看護師に奨学金制度充実

○大町病院では現在、正規・嘱託・パートの看護師を大勢募集しています。家族や知り合いにありましたら病院、矢口看護部長もしくは傘木担当まで「看護師募集の件」と伝え連絡をください。

○奨学金制度が充実しました。看護師を目指す学生には月額6万円もしくは10万円。医師を目指す学生には月額20万か30万円を貸与します。いずれも貸与年数だけ(10万円・30万円の場合は1.5倍)大町病院に勤務すれば全額免除されることになっています。学年途中や年途中からの申し込みも随時受けつけています。郷土のために大いに活用してください。(傘木担当まで)

守る会公開講演会

日時 10月1日(土)午後6時~7時30分

場所 商工会議所2F 会議室

講師 江口 泰広氏

(学習院女子大学教授・学習院大学兼任講師)

演題 「新たな時代の病院と地域住民」

~シェア(共生/協働/共創)時代の病院とコミュニティー

入場料 無料

ありがとうメッセージ

8月11日、第2回開扉

お盆前の8月11日夕方から、病院会議室でありがとうメッセージの箱の開扉が行われ役員が当たりました。

これは2月に設置以降、3月末の開扉以来4ヶ月半ぶりです。

箱からは120通に及ぶメッセージが寄せられていました。中には便せんに押し花を添えた感謝の手紙もありました。子供からは、やさしい字で多くの感謝の言葉が記されていました。メッセージは各科の壁などに張り出しました。



開扉する役員



職員も草取、草刈に汗流す

◆7月7日夕方、仕事が終わってから病院職員による、病院の広い庭の草刈と草取りが1時間半にわたり行われました。

◆小雨が舞う中での作業で汗をかきました。事務職員や看護師など勤務あけの職員約30名あまりでの作業となりました。

◆自らも作業服に着替えて草むしりした病院の宮脇事務長は、「守る会の皆さんが植栽や、水くれなどをやっただけなのに、職員が何もやらないわけには行かない。みんなよく出て、作業に当たってくれました。」と語っていました。

人 事

守る会新幹事に太田美知子さん（平）

中島節子さん（常盤）

守る会第2回幹事会で平地区幹事に太田美知子さんが承認されました。

平地区は宮島邦夫幹事と二人体制になりました。

第3回臨時幹事会で常盤地区懇談会で推薦された中島節子さんが承認され、清水あさひ幹事さんと二人体制になりました。

病 院 人 事

前飯田市立病院 事務局長（現同病院参与）河野純氏が大町病院の経営企画室 院長特任補佐として、4月着任しました。

飯田市立病院財政建て直して敏腕を振るい、5年間で飯田市立病院の再建を果たした。その経験をかわれ、大町病院の再建に当たるため着任したものです。活躍が期待されます。

インターネットに会報が掲載されました

守る会会報1号から8号までがインターネット上に掲載されました。

○大町病院ホームページの右下の「病院を守る会」欄、もしくは「大町病院を守る会」で検索してみてください。

受付ボランティア募集

時 間 8:30～11:30まで（土・日を除く）

内 容 車いすの介助・受診カード受付機お手伝い・院内の案内 週1日でも月1日でも可。（問合せはTEL22-0415 宮脇事務長・傘木さんまで）

【この会報は大町市きらり輝く協働のまちづくり事業の助成を受けています。】